

小生の心は日本よりも^{どいつ}独逸の上に漂ふて居る

大正十一（一九二二）年六月二十八日 山内得立宛西田幾多郎書簡



企画展

外国からの 便り

—西田幾多郎が絵葉書を通して見た世界—



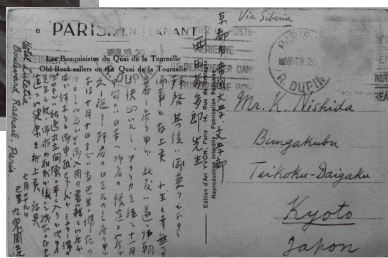
◆ 会 期 .. 平成30年3月27日（火） ～ 9月24日（月・祝）
◆ 休館日 .. 月曜日（祝日の場合は翌平日）



石川県
西田幾多郎
記念哲学館
Ishikawa NISHIDA KITARO
Museum of Philosophy



九鬼周造より



—西田幾多郎が絵葉書を通して見た世界—

平成 30 年

3 月 27 日 (火) ~ 9 月 24 日 (月・祝)

西田幾多郎は、生涯で一度も外国へ行ったことはありませんでした。若かりし頃は留学を希望していたものの、実現しなかったのです。赴任した京都大学では、同僚や教え子の多くが留学をし、様々な国へ渡航しました。幾多郎は彼らから届く便りを楽しみにすると同時に、ヨーロッパの各地で本を探してもらっています。日本から一步も出ずに、広い視野を持ち世界的な思想を構築した背景には、同僚・教え子たちの探し求めた本の存在がありました。外国からの便りを数多く受け取ったのは、妻・寿美が脳溢血で倒れ寝たきりの状態、長男・謙は急病で亡くなり、娘たちが病気を繰り返していた頃でした。幾多郎のみならず、妻の寿美もまた、病床で外国からの絵葉書を楽しみにしていました。幾多郎とその家族に、海外で見た景色を伝えようと送られてきた絵葉書。もらった手紙は読んですぐに棄てたという幾多郎が、珍しく手元に残していた外国からの絵葉書を紹介します。

関連イベント

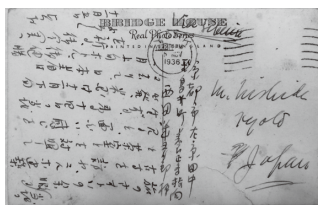
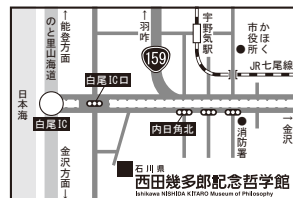
5 月 27 日 (日) 13 : 30 ~
講座「ヨーロッパにおける西田哲学の現在」
西田哲学館長 浅見洋／参加費無料、申込不要

石川県
西田幾多郎
記念哲学館
Ishikawa NISHIDA KITARO
Museum of Philosophy

〒929-1126 石川県かほく市内日角井1
TEL (076) 283-6600 FAX (076) 283-6320
URL <http://www.nishidatetsugakukan.org/>
E-mail nishida-museum@city.kahoku.lg.jp

観覧時間 ■ 9 : 00 ~ 17 : 30 (入室は 17 : 00 まで)
休 館 日 ■ 月曜日 (祝日の場合は翌平日)
観 覧 料 ■ 一般 300 円 / 高齢者 (65 歳以上) 200 円
高校生以下無料

交通アクセス
【車利用】北陸自動車道 [金沢東 IC] - 国道 159 号線 (約 20 分)
のと里山海道 [白尾 IC] - (約 5 分)
【JR利用】金沢駅 - IR いしかわ鉄道線・七尾線 (約 25 分) -
宇野気駅 - 徒歩 (約 20 分) - 哲学館



鈴木大拙より



三木清より



朝永三十郎より



もはや外国へ行く考はないが模写にても
外国の立派な芸術を想像して慰めたいと思ひます

大正十一(一九三二)年五月三日 山内得立宛西田幾多郎書簡

POST CARD

70 円切手を
貼ってください。
※国内郵便の場合は、
62 円切手を貼り、「AIR
MAIL」の表記を削除
してご使用ください。

AIR MAIL